



開館 25 周年を迎えて

延べ1千万人以上の市民が
豊かな時間を過ごしました

長久手市文化の家館長 山勝人



あけましておめでとうございませう。フレンズ会員の皆さまや文化の家フレンズ(劇場ボランティアスタッフ)に支えられ、1998年7月のオープンから数え、長久手市文化の家は25年目の年になります。

25年間、順風にすくすくと育ち、開館時から多くの方にご来館いただき、昨年末までに1170万人の老若男女の市民(関係人口含む)が文化の家で鑑賞や発表、また、語らいやくつろぎなど、豊かな時間を過ごしてきました。

その順風に流れていた時間にストップをかけたのが新型コロナウイルスです。すでに3年が経とうとしています。

昨年年明けから間もない2月、新型コロナウイルスは、文化の家名物の演劇公演「劇王」を開演迫る3時間前に公演ストップをかけました。翌3月には長久手市市民劇団「座☆MAGAKUTE」の公演当日に、またもやストップをかけ、新型コロナウイルスによる公演中止が続いた。2022年の幕開けでした。

まだまだしぶとい新型コロナウイルスと対峙する年でしたが、一方で、80歳にして全国の舞台で活躍する3人のスーパーシニアと出会った年でもあります。

スーパーシニアとの 出会い

レジェンド(偉人)と称されることもありすが、ここでは敢えてスーパーシニアと称えます。

5月には、劇団自由劇場の創設者で演劇界を長年牽引してきた、まつもと芸術館総監督の串田和美さんがコロナ禍の中で生み出した「月夜のファウスト」。こんな世で演劇にできることはなんだろうと創作した私演劇的独り芝居でした。8月には「国際マリンバフェスティバル」をプロデュースし、自らも演奏披露し会場を沸かした、栗原幸江さん。9月の敬老の日には同世代の高齢者を前に演奏し生きている喜びを感じさせる公演となりました。2022年を締めくくる12月に登場したのは、白石加代子さん。「百物語」長久手公演の翌



まつもと芸術館総監督
串田和美さん



マリンバを演奏する
栗原幸江さん



「百物語より「小袖の手」を演じる白石加代子さん

©宮川安利

日に81歳の誕生日を迎えました。物語は100作を優に語り続けましたが、100歳まで公演を続けてもらいたいものです。

さて、今年の2023年は、どのような年になるのでしょうか。

アーカイブで保存する

長久手の地に文化の家が建ち25年、2500本を超える事業が展開されてきました。25年間のあの日あの時、全てが映像で残っているわけではありません。全てが詳細文字で残っているわけではありませんが、少しでも記憶と文獻があるうちにアーカイブで保存する作業を2年前からはじめています。

今年は、記録から記憶を呼び戻すために職員一同で取り組んでいきます。記録を懐かしみ、次世代へと繋げていく25周年。記念誌を発行する計画もあり、フレンズの皆さんに記念誌が披露される日を楽しみにしていただければと思います。本年も皆さまにとって御多幸、良き年でありませうお祈り申し上げます。

美しい調べに酔いしれる

フランス クリスマスコンサート



息の合った Duo Aise(デュオ・エーゼ)の演奏

2022年12月7日文化の家森のホールにて、フランス恒例のクリスマスコンサートが開催され、200名を超えるお客様が来場し、美しい調べに酔いしれました。

幕が開くと、中西美知子さんのヴァイオリンと風呂呂矢さんのピアノのデュオで、早織さんのピアノのデュオで、ヘンデル作曲「ヴァイオリンソナタ第一番」の優雅な旋律が流れ、会場は心地よい空気に包まれました。その後は珍しい曲、馴染みのある曲、ロマンチックな曲、軽快な曲など、多彩な内容のクラシックの曲が次々と演奏されました。後半は風呂呂矢さんがソロで「白雪姫」から「いつか王子様が」をジャズアレンジで聞かせ、再びデュオで「煙が目に

染みる」「アイ・ガット・リズム」などのジャズの名曲が演奏されると、会場から拍手が起りました。

ていねいな曲の紹介やおしゃべりも楽しく、心が温まるコンサートとなりました。アンコールは「クリスマスメドレー」が、いつもと一味違ったジャズアレンジで演奏され、大きな拍手で幕を閉じました。

★気の早いお知らせ

2023年は12月13日！
どうぞお楽しみに！

探訪記

馬頭観音を探して



馬は古墳時代からすでに飼われていたそうで、その頃より近年に至るまで人々の暮らしに貢献してきました。そのため人々は、亡くなった馬の供養や馬の健康、交通の安全や平穏な暮らしなどを願って、道筋や分岐点に馬頭観音を建立しました。

長久手市に残された観音様は、道路の拡張整備などにより、多くが移設され祠が再建されています。



写真①は猪ノ鼻の堰の反対側、色金山の東南麓のわかりにくい場所にある、祠の右には後世に建てられた「井のはな※里謡

写真④は御嶽山。長い階段を上りきった所の手水鉢に在り、知らなければ見落としてしまいうすです。

(りよう)の碑があります。猪ノ鼻とは水が出る所、狭い谷間、などの意味があり、昔はきれいな水だったので人や馬がここで休憩したそうです。観音様は※三面八臂(さんめんはつぴ)がはつきりわかり、頭にはかすかに馬のような浮彫が見えます。明治から昭和にかけて瀬戸・名古屋方面に亜炭の運搬が盛んに行われ、馬車引きの人々により建立されたものです。

このほかにもいくつかの馬頭観音があります。今回は自宅から自転車で行ける範囲を取材しました。普段、馬の姿を見ることはなくなりましたが、時代が変わっても、当時の人々の思いや願いを引き継いで、大切に守っていききたい文化財だと思いました。

(記事・写真 二村)

写真②は宮脇のハートフルハウスの入り口にある、こちらもお顔の表情がよくわかります。

※里謡とはその地方の民衆の間でうたわれる歌。
※三面八臂とは三つの顔と八つの腕を備えていること。顔と腕の数は多種多様。また、怒りの表情が特徴です。

写真③は、常照寺で、はなみずき通駅近くの歩道沿いにあります。台には「馬車連中」と刻まれています、こちらも馬車引きの人々が建てました。風化していますが、よくよく見るとお顔や腕の様子がわかります。

※郷土史研究会のHPにはそのほかの馬頭観音のことも詳しく載っています。皆さんの家の近くにもあるかもしれません。



④

舞台うらかたスペシャリストの お・は・な・し！

裏 方 漫 才

作・石野俊匡

長久手市 暮らし文化部
生涯学習課 施設係



- A ぼくな、最近舞台の仕事に興味があつてな。
- B ふんぶん。それはなんか、きっかけがあるのかな。
- A うちのおかんがな、この前大好きなバンドのライブを見に行ったゆうんよ。で、おかんが言うには、なんか、照明がバーってなって、いろいろな色がいっぱいチカチカして、すごいきれいやつたんやて。
- B それは照明さんが良かったんやな。
- A ほんで、セットも格好良くて、それがさらに途中でぐわあって変わって。
- B それは美術さんと舞台監督がええ腕やつたんやな。
- A おっきなスクリーンに格好いい映像が流れて。
- B 映像さんもええ仕事したんや。
- A 花火がバーン。
- B 特殊効果、特効さんや。他にも楽器や機材のトラックを運転するトランポさん、企画やチケット販売や受付なんかもする制作さん、舞台に関わる仕事はいっぱいあるで。
- で、肝心の演奏はどうやつたん。
- A もちろんバンドの演奏もごつつう良かったって。
- B それはうまいバンドやつたんやな。
- A でもな、おかんが言うには、ちょっと良くないところもあつたんて。
- B なんやろ。
- A MC のときな、声が小っちゃかつたんかも知らんけど、ピーってハウリングしてな。
- B それは音響さんがあかなあ。
- A そうか、音響さんが良くなかつたんか。でも、演奏はすごくいい音やつたんやで。

- B それはバンドがええからやろ。
- A ちょっと待って。演奏がいい音やつたんは、バンドがいいからで、声のちっちゃい MC がハウったのは音響さんが悪いから？
- B そうや。なんぼ声が小さても、ハウらせたらあかなあ。
- A でも、演奏の音はすごい良かったんやで。
- B せやから、それはバンドの手柄や。そもそもうまいバンドの PA(*)は楽なモンや。下手なやつを上手く聴かせてこそ音響さんの腕やないかい。
- A ほんじゃあ何か、照明がきれいなんは照明さんがいいからで、セットがかっこいいのは美術さんのセンスのおかげ、転換がスムーズなのは舞台監督が有能だから。でも演奏の音がいいのはバンドがいいからで、声のちっちゃい MC でハウったのは音響さんが下手くそやと。
- B その通り。ようわかっるとるやないか。
- A でもそれ、音響さんがちょっとかわいそうやないか。
- B じゃあない。音響さんとはそういうモンや。だれにも存在を意識させずに、みんながニコニコの顔でコンサート会場を後にしてくれたら、それだけでいいんや。同業者以外に存在を意識させたら、音響屋として負けや、と俺は思つとる。
- A すいぶん偉そうに言うやないかい。
- B そりやあ、おれが音響さんだからだよ。
- A もうええわ。

* PA：マイクなどを使って声や演奏を拡声すること。



JAZZ長久手～やっぱりジャズはイイ！

日時 2023年2月10日(金) 19:00 開演 (18:30 開場)
 会場 風のホール
 料金 フレンズ会員 2,200 円、一般 2,500 円、学生 1,500 円

本格的なジャズを身近な劇場で楽しめるJAZZ長久手。今回は、ジャズトランペッター類家心平率いる「RS5pb」が長久手に初登場します！



RS5pb

名演への招待シリーズ 20

パトリツィア・コパチンスカヤ ヴァイオリンリサイタル with ヨーナス・アホネン

日時 2023年3月14日(火) 19:00 開演 (18:30 開場)
 会場 森のホール
 料金 フレンズ会員 4,500 円、一般 5,000 円、学生 2,500 円
 発売日 フレンズ会員 1月7日(土)、一般 1月14日(土)

今、世界が注目しているヴァイオリニスト、パトリツィア・コパチンスカヤと彼女が絶大なる信頼を置くピアニスト、ヨナス・アホネンによるデュオ・リサイタルを開催します。コパチンスカヤは、これまでのクラシック界の常識を覆すセンセーショナルなパフォーマンスで世界中を驚愕させてきました。クラシック界に衝撃を与え続けるコパチンスカヤが今、長久手に届けるヴィヴィッドな音楽をお見逃しなく！



パトリツィア・コパチンスカヤ



ヨナス・アホネン

長久手市劇団 座☆NAGAKUTE 第34回公演 「風立ちぬ」

日時 2023年3月18日(土) 14:00、19:00
 19日(日) 14:00
 会場 風のホール
 料金 フレンズ会員・一般 1,500 円、学生 1,000 円
 発売日 フレンズ会員 1月7日(土)、一般 1月14日(土)

「垣根に花咲く吉野家の庭と縁側」を舞台に進行する。会話と会話が混じり合い、耐えることなく続くナンセンスな会話の果てに、思わぬ事態が発生する。



過去の公演の様子



名前を愛称で呼ぶサークルに入り、初めは少々気恥ずかしかったが、慣れてきたら意外と“ちゃん付け”で呼ぶのも、呼ばれるのも楽しい。笑顔でエクササイズ。私にとって貴重な時間でもある。 (さ)



ほんとすぺーす 夢中になれるもの

長久手市在住 M.O

最近では情報をスマホやパソコンで入手する。功罪あるネットもくらしに利用すると便利なことが多い。
 今年は家の木製フェンスがとうとう壊れた。私は業者に依頼するつもりだったがDIY好きの娘がネットで部材を購入、私も手伝い二人がかりで完成させた。出来栄はまあまあ。満足度もまあまあ笑
 この間台所の水栓が水漏れした時は新しい水栓を購入。ネットを参考にして直したが、18年前の水栓はサビがひどく悪戦苦闘してやっと取り外したがそのあとしばらくは腕の痛みに耐えねばならなかった。無理は禁物！(笑)
 女性でも機械いじりが好きな人は多いが娘はテレビや掃除機などの修理。大きいものでは少々古くなった車のボンネット。これは修理ではなく交換。自分の車のボンネットの型式をネットで調べ購入。これには私もビックリ、心配になったが取り付け方法はユーチューブで多くの人が懇切丁寧に動画を配信してくれる。
 娘を見ていると色々やっていることが勉強になり、知識も豊富になって生き生きしている。夢中になれるものがあることは幸せなこと。私もネットと上手に付き合い、また自分の五感も大切にしながら夢中になれるものを見つけた。